

里山地域と ロータリークラブの 早生樹植林事業


EUREKA works株式会社
代表取締役 谷村 一行



目次

1. 自己紹介
2. ロータリークラブとは
3. 事業内容
4. 課題
5. 最後に





谷村一行 (たにむらかずゆき)

EUREKA works株式会社 代表取締役

- ・ 一級建築士
- ・ 一級建築施工管理技士

大阪南なみはやロータリー衛星クラブ
2021-2022議長



ロータリークラブとは

1905年にシカゴで創設された
国際的な社会奉仕連合団体

ロータリーの使命

“職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて
人びとに奉仕し、高潔さを奨励し
世界理解、親善、平和を推進すること”



Rotary
第2660地区



7つの重点分野



事業概要

場所

兵庫県宍粟市一宮町

主催者

百千家満里山 おちやまさとやま（自治会の有志グループ）

事業内容

令和5年3月同地区内の荒廃農地約0.3haに
120本程度の早生樹（センダン）を植林予定

協同支援者

大阪南ロータリークラブ
大阪南なみはやロータリー衛星クラブ

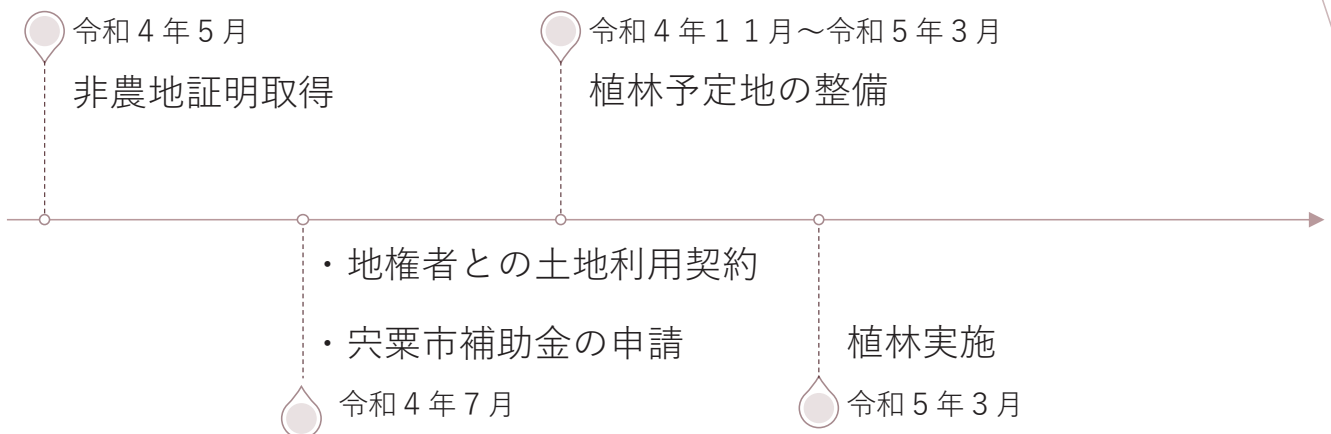


経緯

- 2014年 センダンの植林を『産・官・学 地元NPO』にて本州で初めて大阪市住之江区平林にて実施
- 2015年 宍粟市波賀町のフォレストステーション内でセンダンの植林を実施
- 2016年 荒廃農地の有効活用を模索していた宍粟市議会議員と早生樹活用研究会が賛同し梯（かけはし）地区にてセンダンの植林を実施
- 2019年 百千家満地区にてセンダンの植林を実施

※ロータリークラブでは『環境の保護』に関する事業を検討していたところ、百千家満地区の植林事業を早生植林材研究会に紹介頂き支援することになった

実施スケジュール





三者共通理念

- ・当該プロジェクトの植林から製材（製品）化までの全期間を通じて交流を図り、親睦を深め、お互いの目的の達成の為に協力をする
- ・SDGS の概念に則り持続可能な里山地域の産業発展・森林の管理、カーボンニュートラルに貢献する
- ・本事業を通して里山地域と都市部の継続的な交流を図る

それぞれの目的



百千家満里山

- ・ 荒廃農地跡の植林により農村環境に悪影響を与えている**荒廃農地の再生**を図り、地域の緑化と環境改善
- ・ 短伐期の早生樹植林による地域の林業と産業の活性化



- ・ 事業主の目的に賛同し、『**環境の保護**』という新しい重点分野に取り組む



- ・ 事業主、衛星クラブの目的に賛同し、当該事業の支援を行う

早生樹植林事業を 継続・実施する上での課題

▶地権者・地域の理解を得る

- 事例が少ない
- 認知度が低い
- 信頼関係の構築に時間を要する

▶資金の回収スパンが長い

▶獣害対策

- 初期費用が大きい

▶スキーム・書式等の整備

- 役割分担や責任範囲の明文化が必要
- 意思疎通や思い違い解消のため十分な協議が必要

最後に

- 国際的な木材供給が不安定な中
早生樹植林は林業界を活性化する救世主と
なる可能性がある
- 荒廃農地は植林地として非常に有効
- 広葉樹であるセンダンは新たな
建材・家具材としてのポテンシャルがある





ご清聴ありがとうございました